

■利用時間
■定例休館日

午前9時30分～午後7時
毎週月曜日〔祝日の場合は翌日〕・図書整理日〔月末日（土・日・月曜日の場合は翌日）〕



新着コーナー

◇一般書◇

『銀幕の神々』

山本甲士 著／小学館
岩瀬修は63歳。任侠映画を観たのは中2のときで、たちまち高倉健のファンになった。映画を観たいために家業の飲み屋を手伝うようになって……。忘れ得ぬ人たちと映画への想いを綴ったハートウォーム小説。

『偉大なる失敗』

マリオ・リヴィオ 著、千葉敏生 訳／早川書房
才能にめぐまれた科学者だって、間違いはする。実は、あのダーウィンもインシュタインも、大がつくほどのミスをしているのが現実だ。しかし、それこそブレイクスルーの鍵なのだ。

『焼きいもが、好き！』

日本いも類研究会「焼きいも研究チーム」
企画編集／農山漁村文化協会
江戸時代に庶民のおやつとして生まれた焼きいもは、今も変わらず愛される「日本人のソウルフード」。知っているようで知らない焼きいもが持つヒミツの力……おいしさ・栄養力・食べ方をやさしく解説。

『透明カメレオン』

道尾秀介 著／KADOKAWA

『サーカスの夜に』

小川糸 著／新潮社

『桑港特急』

山本一力 著／文藝春秋

『指の骨』

高橋弘希 著／新潮社

『ちょっと調子がよくないときのいたわりスープ』

今泉久美 著／河出書房新社

◇児童書◇

『コロッケです。』

西村敏雄 作／学研教育出版
町のコロッケ屋さんにいたコロッケは、ある日、お店を逃げだしました。コロッケころころころころ～！ころころ転がって町のあちこちに出没したコロッケは、最後に月を目指しますが……。

『どっちもね』

高島純 え、おおなり修司 ことば／絵本館
「ねこと かげ」「ねこ とかげ」、「いぬ とくい」「いぬと くい」、文はひとつ、なのに意味はふたつ。一つの言葉に二つの面白さ！どこで区切るか、そこが問題だ。ことば遊びが楽しい絵本。

『ぶんぶんおばけ』

なががわちひろ 作・絵／理論社
ぶんぶんおばけは、どこの家にも1びきいるんです。ぶんぶんおばけの好物は、おこっている人の頭から出るけむり。けんかがはじまると、おばけはとてもうれしそう。家族の日常をユニークな発想で描いた絵本。

『ロバのジョジョとおひめさま』

ヘレン・ステューヴンズ 絵、マイケル・モーパーゴ 文／徳間書店

『あかくんでんしゃとはしる』

あんどうとしひこ さく／福音館書店

『ルルとララのフレンチトースト』

あんびるやすこ 作・絵／岩崎書店

『こうじょうたんけん たべもの編』

藤原徹司 著／WAVE 出版

展示コーナー

一般テーマ『ワクワク・ドキドキ新生活』

新入学や新社会人など、春は新しい生活がはじまる方も多いのではないのでしょうか。新生活のヒントになる本を集めました。

児童テーマ『本のおはなし』

本はとてもステキです。色々な世界に連れていってくれます。そんな本と、本になじみの深い図書館や学校の出でくるお話を集めました。

読みきかせの会

日時 3月7・14・28日(土) 午後2時～
3月22日(日) 午前10時30分～
場所 図書館内おはなし室